

令和5年台風第6号に関する被害状況等について（第13報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1 気象状況 気象庁発表（8/10 05:00 時点）

- 7月28日03時にフィリピンの東で発生した台風第6号は、8月2日から3日にかけて、大型で非常に強い勢力で沖縄地方にかなり接近した。その後、西へ進み、東シナ海でほとんど停滞した後、進路を東へ変えてゆっくりとした速度で再び沖縄・奄美に接近した。沖縄・奄美を通過後は北上し、9日は九州の西の海上を北に進んだ。
- 7月30日から8月10日にかけての総雨量は、台風接近前から雨が降り続いた九州南部地方の多い所で1000ミリを超える大雨となり、平年の8月の月降水量の2倍を超えた地点があった。また、台風の影響を長く受けた沖縄・奄美では多い所で700ミリを超える大雨となり、平年の8月の月降水量の4倍を超えた地点があった。沖縄地方や九州南部・奄美地方、九州北部地方、四国地方では線状降水帯が発生し、四国地方でも、多い所で800ミリを超える大雨となり、平年の8月の月降水量を超えた地点があった。
- 沖縄地方では最大瞬間風速が50メートルを超え、8月の1位の値を更新した地点があったほか、潮位が過去最高の値を更新した地点があった。また、再接近時も最大瞬間風速が30メートルを超える風が吹くなど、影響が長く続いた。8日以降は台風の北上に伴い、九州でも40メートルを超える最大瞬間風速を観測した。
- 台風第6号は、対馬海峡にあり、今後は朝鮮半島を北上する。台風は九州から離れるが、引き続き10日は、台風周辺の雨雲により、九州北部地方や九州南部、四国地方では大雨となる。また、11日にかけて、九州を中心に、これまで降った大雨で地盤の緩んでいる所があり、土砂災害が発生しやすい状況が続く。
- 10日にかけて、九州北部地方、四国地方では、非常に強い風が吹くところがあり、九州北部地方ではうねりを伴った大しけとなる。
- 九州や四国地方を中心に、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。暴風、高波に警戒。落雷や竜巻などの激しい突風に注意。

2 体制等

- 警戒体制：本省、九州地整、九州運輸、沖縄総合事務局、気象庁、国総研、国土地理院
- 注意体制：近畿地整、四国地整、関東運輸、中国運輸、四国運輸

3 一般被害情報（消防庁 HP 8/9 15:00 時点）

○人的被害

- ・死者 1 人（沖縄 1）

○住家被害

- ・半壊 3 棟（沖縄 3）
- ・床上浸水 6 棟（沖縄 6）
- ・床下浸水 3 棟（沖縄 3）

4 被害情報等

(1) 河川（8/10 06:00 時点）

○国管理河川

- ・被害情報なし。

○都道府県管理河川（5 水系 5 河川）

- ・3 県（高知県、鹿児島県、沖縄県）において、5 水系 5 河川で氾濫が発生（詳細確認中）。
- ・その他の河川の被害については内水被害を含めて調査中。

(2) ダム（8/10 06:30 時点）

○洪水調節（事前放流を含む）を実施 93 ダム

93 ダムのうち、事前放流の基準に達したダム 83 ダム

- ・事前放流を実施 48 ダム（うち、利水ダム 32）
- ・すでに事前放流の容量を確保 35 ダム（うち、利水ダム 18）

※基準降雨量との関係やダムの運用について評価中であり、数値が変更となる場合があります。

異常洪水時防災操作を実施 1 ダム：国領川水系足谷川鹿森ダム（愛媛県管理）。 こくりょうがわすいけいあしたにがわしかもり 下流河川の氾濫情報なし。

(3) 砂防

○土砂災害（8/10 07:30 時点）

- ・23 件（宮崎県 3、沖縄県 20）

人的被害 なし

人家被害 一部損壊 3 戸（宮崎県 1、沖縄県 2）

○土砂災害警戒情報（8/10 06:30 時点）

9 県 86 市町村に発表（徳島県、愛媛県、高知県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県）

※6 県 45 市町村で継続中（愛媛県、高知県、佐賀県、大分県、宮崎県、鹿児島県）

(4) 道路 (8/10 07:15 時点)

○高速道路

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：3 路線 20 区間

E3 九州自動車道 (えびの IC～栗野 IC) 【2 区間】：雨量基準超過

E10 宮崎自動車道 (えびの JCT～宮崎 IC) 【6 区間】：雨量基準超過

E78 東九州自動車道 (臼杵 IC～津久見 IC) 【1 区間】：雨量基準超過

E78 東九州自動車道 (西都 IC～清武南 IC) 【4 区間】：雨量基準超過

E78 東九州自動車道 (末吉財部 IC～国分 IC) 【1 区間】：雨量基準超過

E78 東九州自動車道 (志布志 IC～末吉財部 IC) 【6 区間】：雨量基準超過

○有料道路

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：1 路線 4 区間

指宿スカイライン (谷山 IC～颯娃 IC) 【4 区間】 強風

○直轄国道

被災による通行止め：なし

雨量基準超過等による通行止め：1 路線 3 区間

国道 33 号 (高知県仁淀川町)：雨量基準超過

国道 33 号 (高知県仁淀川町～愛媛県久万高原町)：雨量基準超過

国道 33 号 (愛媛県久万高原町)：雨量基準超過

○補助国道

被災等による通行止め：5 路線 5 区間

国道 269 号 (鹿児島県南大隅町)：土砂崩れ

国道 388 号 (宮崎県椎葉村)：路肩洗掘 ※3 世帯 8 名の孤立が発生

国道 448 号 (鹿児島県南大隅町)：倒木

国道 449 号 (沖縄県名護市)：路面冠水

国道 505 号 (沖縄県名護市)：土砂崩れ

○都道府県道等

被災等による通行止め：7 県 26 区間

静岡県 1 区間 (倒木 1)

和歌山県 1 区間 (路肩崩壊 1)

高知県 2 区間 (路面冠水 1、土砂崩れ 1)

熊本県 1 区間 (土砂流入 1)

大分県 2 区間 (倒木 1、土砂流出 1)

宮崎県 10 区間 (路肩崩壊 3、路面冠水 2、倒木 2、土砂流出 2、
電柱倒壊 1)

鹿児島県 9 区間 (路面冠水 1、土砂崩れ 6、倒木 2)

(5) 鉄道 (8/10 06:30 時点)

<新幹線>

【運転を見合せている路線】：2 事業者 2 路線

J R 西日本：山陽新幹線

J R 九州：西九州新幹線

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

<在来線>

【運転を見合せている路線】：15 事業者 52 路線

J R 西日本：山陽線、岩徳線、宇部線、小野田線、山口線、山陰線

J R 四国：予讃線、土讃線、予土線

J R 九州：山陽線、鹿児島線、日豊線、筑豊線、篠栗線、日田彦山線、
後藤寺線、香椎線、長崎線、佐世保線、大村線、筑肥線、唐
津線、久大線、豊肥線、三角線、日南線、吉都線、肥薩線、
指宿枕崎線

西日本鉄道：天神大牟田線、太宰府線、甘木線、貝塚線

錦川鉄道：錦川清流線

土佐くろしお鉄道：中村線、宿毛線

平成筑豊鉄道：門司港レトロ観光線

甘木鉄道：甘木線

松浦鉄道：西九州線

島原鉄道：島原鉄道線

肥薩おれんじ鉄道：肥薩おれんじ鉄道線

くま川鉄道：湯前線

南阿蘇鉄道：高森線

長崎電気軌道：赤迫支線、本線、桜町支線、大浦支線、蛍茶屋支線

鹿児島市交通局：第一期線、第二期線、谷山線、唐湊線

【今後、運転を見合わせる予定の路線】：なし

(6) 航空 (8/10 06:00 時点)

○運航に支障となる空港施設等の被害情報なし

○運航への影響

9 日 欠航便 625 便 (JAL255 便、ANA153 便、その他 217 便)

10 日 欠航便 109 便 (JAL38 便、ANA42 便、その他 29 便)

(7) 海事 (8/10 06:00 時点)

○被害状況等

・なし

○運休状況等

- ・ 101 事業者 124 航路運休

(8) 港湾 (8/10 06:00 時点)

○港湾施設（海岸保全施設を含む）の被害状況

- ・ 中城湾港(沖縄県)にて、護岸及び防波堤の一部損傷。
- ・ 渡嘉敷港(沖縄県)にて、浮棧橋、屋根付き通路部材の一部損傷。
- ・ 本部港(沖縄県)にて、岸壁上部工の一部損傷。
- ・ 伊江港(沖縄県)にて、臨港道路のガードレールの一部倒壊。
- ・ 宮之浦港(鹿児島県)にて、漂流物（木切れ及び木皮等）を確認し、8/10 早朝より回収作業実施予定。

※渡嘉敷港については、港湾利用への影響について詳細確認中。その他港湾については、利用に支障なし。

(9) 自動車 (8/10 06:00 時点)

○運休状況等

- ・ 高速バス： 20 事業者 69 路線運休、一部運休なし
- ・ 路線バス： 18 事業者 54 路線運休、4 事業者 8 路線一部運休
- ・ 宅配事業者： 大手 5 事業者において一部地域で集配遅延等

(10) 海岸 (8/10 07:00 時点)

沖縄県管理の 4 海岸で被害あり（家屋等への影響なし）

- ・ 汀間海岸（名護市）：道路維持工事で設置した仮設道路護岸が崩壊。
- ・ 平良海岸（国頭郡東村）：護岸被覆石飛散・防護柵破損・道路への砂飛散（除去中）
- ・ 名護海岸（名護市）：道路への砂飛散（除去中）
- ・ 富着海岸（恩納村）：道路への砂飛散

(11) 物流施設

- ・ 沖縄県の営業倉庫 3 棟において壁、扉の一部損壊等（修理済。営業に影響なし。）

(12) 公園・都市 (8/10 07:00 時点)

○国営公園：1 施設被災（沖縄記念公園：休憩施設の屋根等の破損）

※被災エリアは立入りを規制中

(13) その他（下水、観光）関係の状況

- ・ 被害情報なし

5 国土交通省の対応

(1) 災害対策本部会議等

○国土交通省災害対策連絡調整会議（7/31、8/3、8/7）

(2) 記者会見等

○共同取材（気象庁・水管理・国土保全局 8/4 14:00）

○共同会見（高松地方气象台・四国地整 8/6 11:00、気象庁・水管理・国土保全局 8/7 14:00、福岡管区气象台・九州地整 8/7 15:00）

(3) ホットライン構築状況

四国、九州、沖縄の103市町村とホットラインを構築

（徳島4、愛媛3、高知8、熊本2、大分5、宮崎12、鹿児島28、沖縄41）

(4) TEC-FORCE 等【本日15人派遣】（のべ111人・日）

○リエゾン：1市へ2人を派遣（薩摩川内市2）

○JETT：7県へ13人を派遣

（佐賀県庁2、長崎県庁2、熊本県庁2、大分県庁2、宮崎県庁2、鹿児島県庁2、愛媛県庁1）

(5) 災害対策用機械の出動【本日4台派遣】（のべ15台・日）

- ・排水ポンプ車（8/7～現在）（高知県四万十市1、徳島県阿南市1）
（8/8～現在）（愛媛県大洲市1）
- ・待機支援車（8/7～現在）（高知県仁淀川町1）

6 気象庁の対応

○気象庁災害対策連絡会議を開催（8/4）。

○気象庁では気象情報等を適時に発表し、報道機関を通じて警戒の呼びかけを実施。

○8/4には水管理・国土保全局と合同で報道機関に対し解説を実施。

○8/7には水管理・国土保全局と合同記者会見を実施。

○各地の气象台は、警報等を適時に発表するとともに、JETT（気象庁防災対応支援チーム）の派遣（のべ107人・日）やホットライン、地方整備局等との合同での台風に関する記者会見等により、警戒を要する自治体等に今後の見通しについて解説を実施。

7 海上保安庁の対応（8/10 06:00 時点）

(1) 体制

- 第六管区海上保安本部 警戒配備発令
- 第七管区海上保安本部 非常配備発令
- 第十管区海上保安本部 警戒配備発令

(2) 対応状況

航空機による沿岸部の被害状況調査実施、被害を認めず。（8/6, 7, 8）

(3) リエゾン派遣

8/4～7 沖縄県（延べ8名）

8/10 大分県佐伯市 (2名)

(4) 被害状況

○沖縄県石垣市沖で乗揚げていたパナマ籍貨物船の船尾部が破断 (8/4)

(5) 自治体等からの要請

○沖縄県 (沖縄電力)

- ・ 停電復旧作業のため、渡嘉敷島への資機材及び人員の搬送
→那覇航空基地航空機にて搬送 (8/7 16:55)

○沖縄県 (救助要請)

- ・ 渡嘉敷島において発生した傷病者 (81歳男性) を那覇航空基地航空機により沖縄本島へ搬送 (8/7 11:43)
- ・ 石垣島において発生した傷病者 (67歳男性) を那覇航空基地航空機により沖縄本島へ搬送 (8/7 20:20)

(6) 航行警報等の発出状況

①航行警報 9件

②海の安全情報 16件

(7) 港湾における避難勧告等の発出状況

①第一体制 (警戒勧告) 80港

②第二体制 (避難勧告) 34港

③臨海部の施設周辺海域での錨泊制限の状況

7/31 志布志国家石油備蓄基地

8/9 長崎空港

8/9 北九州空港

(8) 当庁施設等の被害状況

- ・ 金武中城港石川第二号灯浮標 (漂着)
- ・ 西表白浜港第一号灯標 (消灯)
- ・ 長山港第六号立標 (消灯)
- ・ 辺土名港沖防波堤灯台 (消灯)
- ・ 慶良間黒島南方灯標 (消灯)

8 国土地理院の対応

○被災状況把握に備えるため、測量用航空機を調布飛行場にて待機 (8/8～)

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 小林
代 表：03-5253-8111 内線35-822
直 通：03-5253-8461